

ますかっと病児保育ルームはお陰様で開所から3年半が経過しました。小児科医師・看護師・病児担当保育士・病棟保育士がチームとなり、医療人キャリアセンターMUSCATとの連携のもとで総合的な医療保育を学び、利用する子どもに優しい施設であることを目指して常にブラッシュアップを心がけた運営を行っています。

今後とも、ますかっと病児保育ルームおよび病棟保育への温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ますかっと病児保育ルームについて

受入定員が5名までになりました(平成25年5月～)

ますかっと病児保育ルームの受入定員が4名から5名に変更になり、さらにご利用頂きやすくなりました。

今までは1日に4名までの受入

平成25年5月から、1日に

5名まで受入可能!

さらに安心して
ご利用いただけます!



スタッフが変更になりました

平成25年4月より、ますかっと病児保育ルーム担当看護師および病棟保育担当保育士が変更になりました。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

●病児保育ルーム担当

- ・嘉数 千恵 (看護師) → ・岩井 美由紀 (看護師)
- ・黒坂 裕子 (看護師) → ・萬永 洋子 (看護師)

※元病児保育ルーム担当(育児復帰)



●病棟保育担当

- ・金津 有美 (保育士) → ・竹原 康江 (保育士)



どうぞ宜しく
お願いします!



退職者からのメッセージ

ますかっと病児保育ルームに勤務して

実は、小さな子どもを大の苦手としていた私が、ますかっと病児保育ルームに勤務して2年3ヶ月が経ちました。

病児保育ルームに勤務する以前の私は子どもを”子ども”として見られず、自分と同じひとりの”大人”として見ていたため、泣かれるたびに苦手に思い、表情もこわばっていたのですが、今では子どもを”子ども”として見られるようになり、それと同時に心の底からかわいいと思えるようになりました。自分の方から近寄りたくなり、自然と笑顔が出るようになりました。これはこんな私に身を持っていろいろと教えて下さった保育士さんや、このますかっと病児保育ルームを利用して下さったたくさんのかわいい子どもたちをはじめ、温かく見守って下さった保護者の皆様のお陰だと感謝しています。

これからも今まで同様、ますかっと病児保育ルームを宜しくお願い致します。

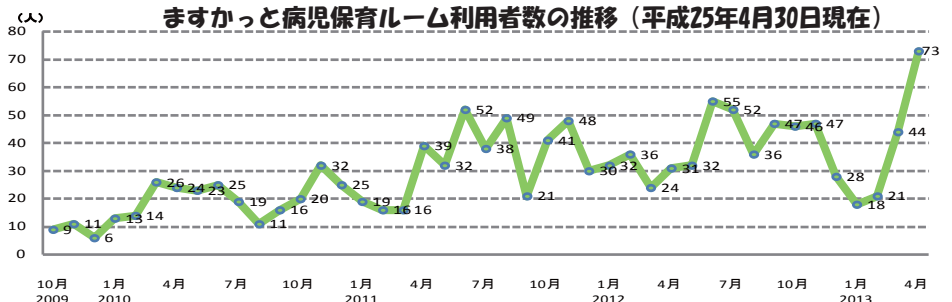
看護師 嘉数 千恵



ますかっと病児保育ルーム 利用者数について

ますかっと病児保育ルームの利用者数は平成24年度内に累計で1,000名を超えました。(平成25年4月30日現在で1,297名)。これからも皆様が安心してお子様を預けて頂ける施設を目指し、スタッフ一同努めて参ります。

ますかっと病児保育ルーム利用者数の推移 (平成25年4月30日現在)



ますかっと病児保育ルーム (岡山大学次世代育成支援室/医療人キャリアセンターMUSCAT)

岡山大学病院歯科外来棟3階 tel&fax: 086-235-7301

予約・問合せ：月曜日～金曜日 / 8時～18時まで (開室は17時30分まで)

ホームページ：<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/jisedai/muscat1.html>



● 病棟保育について.....



小児病棟(西2階)での病棟保育について

ますかっと病児保育ルームでは岡山大学病院の小児病棟(西2階)へ保育士(病棟保育担当)2名を配置し、入院中の患児に対する保育の実施や遊びの提供を行っています。

西2階病棟には専用のプレイルームも設置されており、様々なおもちゃや絵本などを揃えています。プレイルームだけではなく、保育士が直接ベッドサイドまで行って一緒に遊ぶなど、入院中であっても子どもが遊ぶこと自体を制限されることなく、治療に対して前向きな気持ちで挑めるよう支援を行っています。

保育士が保育中に気付いた患児の様子などは電子カルテに保育記録として保存しており、医師や看護師の方とも情報を共有しています。

また2012年には病棟保育士が日本小児保健協会学術集会にて発表を行うなど、よりよい医療保育のために知識を深め、他施設とも情報交換を行っています。

今後とも、病棟保育へのご理解とご支援を宜しくお願い致します。



こども病院に見学に行ってきました(静岡県立総合病院、静岡県立こども病院)



↑静岡県立総合病院様



↑広々としたプレイルーム



静岡県立こども病院様⇒

静岡県静岡市の静岡県立総合病院様および静岡県立こども病院様に、ますかっと病児保育ルーム副室長、小児科医師1名、ますかっと病児保育ルームの保育士3名(病児保育ルーム担当1名、病棟保育担当2名)が見学に伺いました。HPSの方や保育士の方々からプレパレーションやディストラクションの様子の見学、入院中の子どもやご家族に対する接し方などについて教わりました。

プレパレーション・ディストラクションってなに??

プレパレーションは、これから行われる医療処置などについて「理由」ではなく、「何が起るのか」を子どもにわかる方法で説明し、医療行為による恐怖や心理的混乱を緩和するとともに、その事態を乗り越えるための「頑張る力」を引き出していくケアです。「頑張る力」は子どもが疾病から回復する原動力や生きる力となり、子どもの病院での経験が否定的反応から肯定的反応になるなどの効果も期待されます。

ディストラクションとはその中の1つの技法で、処置中に行う遊びのことで、処置や治療中に意識を遊びに向けさせることにより、処置に対する恐怖心や苦痛を緩和させます。

写真：静岡県立総合病院様で実際に行われている様子



↑検査前におもちゃを使ってプレパレーションをします。



←採血中のディストラクション(絵本に意識を集中させています)

予約状況をご確認いただけます

予約状況が携帯やインターネットから確認できるブログを開設しています。是非ご活用ください!!

携帯電話からは下記バーコードを読み取って下さい。



パソコンからは...
<http://www.okayama-muscat.jp/okayama/blog/>



ますかっと病児保育ルーム (岡山大学次世代育成支援室/医療人キャリアセンターMUSCAT)

岡山大学病院歯科外来棟3階 tel&fax:086-235-7301

予約・問合せ：月曜日～金曜日/8時～18時まで(開室は17時30分まで)

ホームページ：<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/jisedai/muscat1.html>